

市長・副市長・教育長・部長全員男性

小郡市の男女平等、道遠し

意識改革と人材育成が課題

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

つなぐ

発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



政策決定に女性の視点が欠けていないか

小郡市の政策は、市長、副市長、教育長および7人の部長で構成される庁議で話し合われ決定されます。ところが、この庁議のメンバー全員が男性です。防災、新型コロナ、介護、子育て、まちづくりなどどれをとっても女性の関わらないもの是一つとしてありません。男性ばかりの会議でどこまで女性の視点が意識されているか心配です。しんばる議員は、政策決定に女性の参画を急ぐよう求めました。

「女性がたくさんいる会議は時間がかかる」

今年2月、東京オリ・パラ組織委員長だった森喜朗氏の発言です。女性を軽蔑するような発言に対し、国内外から厳しい批判が起これり森氏は辞任に追い込まれました。しかし、これは我が国の男女平等の実態が表出したものともいえ、すべての男性が取り組まなければならぬ問題です。

政治分野の遅れ際立つ、世界147位

先月、国会で「政治分野における男女共同参画推進法改正」が成立しました。女性の立候補を妨げている議会内外での「セクハラ」「マタハラ(妊娠・出産に関わる嫌がらせ)」を禁止する内容です。

ニュージーランドのアーダーン首相は、就任後、妊娠出産しているのに日本は大きく立ち遅れています。

小郡市議会は18人中女性は4人

国の男女共同参画計画には、特に「指導的地位に占める女性の割合が30%をめざし」とあります。小郡市ではどんな人たちがこの問いに部長は、「議員、審議会委員、市の課長以上の管理職、区長、公民館長、民生委員、会社の管理職、団体役員等」と答えました。現在どうなっているかわかる範囲では次の通りです。

役職	全体	女性	男性	割合%
議員	18	4	14	22.2
審議会委員	308	97	211	31.4
市部長	7	0	7	0.0
市課長	40	14	26	35.0
区長	62	2	60	3.2
公民館長	69	1	68	1.4
民生児童委員	92	74	8	76.6

市の課長は14人

部長以上は全員男性というのは極めて大きな問題ですが、課長は14人、35.0%と増えてきています。ただ、子育てや介護関係部署が多く性別役割意識があるようにも見えます。今後、男女それぞれの意識改革と人材育成に力を入れていくことが必要です。

新型コロナ、女性への影響大

コロナ禍で女性に対する暴力や女性の自殺者増、女性の多い産業や非正規雇用労働者への影響、女性の家事、育児、介護への負担増など、就労面、生活面に大きな影響が及んでいます。これに対し市長は、国、県、市が連携して相談体制の充実や経済的に困窮する女性への支援を行うとともに、コロナ後を見据え、ジェンダー平等に取り組んでいくと答えました。

労働環境悪化で教職受験者、ついに過去最低に 教職員から、あきらめのため息

このままでは子どもに希望を語れない

働き方改革、 改善の兆し見えず

学校教職員の長時間労働、重い業務負担が明らかになり、教員を志望する若者が減り続けています。働き方改革の掛け声とは裏腹に、抜本的改善はできていません。それどころか昨年来の新型コロナウイルス感染症予防やGIGAスクール推進といった新たな業務が増え、以前にもまして働く環境は悪化しています。しんばる議員は、教育委員会に対し雇用者の義務として労働基準法を守り、これまでも増して業務改善に早急に取り組みよう求めました。

文部科学省「教師のバトン」炎上

この春、文部科学省は、教師を志す若い人たちに向け、教師のやりがい、魅力などをツイッターで現場教員から伝えてもらおうと「教師のバトン」を始めました。ところが、当初の想定とは異なり、教職の魅力より苛酷な労働環境を訴える現場の声があふれました。例えば、「夢をかなえて教員になったけど10年もたなかつた」「とてもじゃないが若者にバトンを渡せない」「3年勤めて精神疾患にな

中学校で約6割います。しかし、この時間には昼の休憩時間の業務や持ち帰り仕事は含まれていないので実際はもっと多いはず。小郡市教委は今年から時間外労働の上限を月45時間、年360時間と決めました。これを2024年度までに達成するとしています。

労働基準法違反を放置

市教委は、休憩時間や持ち帰り仕事の時間の実態把握はできていないといいます。これは雇用者として重大な義務違反です。違反したら懲役等の罰則が科せられる深刻な事態です。残念ながら学校現場には労働基準法を守るという意識が希薄です。教員には、勤務時間を度外視しても「子どものために」という善意と使命感があります。それにあぐらをかき、次々に業務内容を増やしてきたのです。もはや「先生たちにはよくやっていただき感謝しています」では済まないのです。

疲れ切る小郡市の教員

小郡市ではどうかというと、月45時間以上の時間外勤務者が小学校で約4割、

なぜ急ぐ！ タブレットの持ち帰り

小郡市教委は、全小中学校に5月中に子どもたちへタブレットパソコンを家庭に持ち帰らせ使えるようにすることを求めました。学校では、準備のため、通常業務に加え新たな負担が増え大混乱となりました。小学校低学年から使い方を教え、家庭にネット接続を依頼し、保護者から機器の貸し出し承諾書をとるなどいくつもの業務が増えました。それだけでなく経済的・教育的に様々な家庭環境にある子どもたちへの配慮で多くの教員が悩みました。

まるでインパール作戦

太平洋戦争中、ビルマで16万余の犠牲を出したインパール作戦は武器弾薬食料なしに精神論だけで決行された無謀な作戦でした。今の小郡市のやり方は、人も時間もなしにやらせる点で同じように無謀な作戦です。

長引く新型コロナ 補正予算で困窮者支援

小郡市の新型コロナ感染者は267人(7月1日現在)で小康状態です。一方、長引く経済活動の自粛によって生活に困る市民が増えてきました。6月議会では、国・県の施策を活用した新たな支援の予算が決まりました。

子育て世帯支援 子ども一人5万円支給

低所得の子育て世帯の高校生まで1人当たり5万円を支給します。ただし、住民税非課税か非課税相当の世帯が条件です。

事業者到家賃支援

営業自粛等で収益が悪化した事業者に事業継続のため家賃の一部を支援します。県から家賃の3分の2(限度額20万円)市からその5分の1。すでに県の支援が決定していることが条件です。

生活困窮世帯に 最高10万円3か月支給

収入が著しく減少し、資産も少ない家庭に対し支援金を3か月間支給します。(単身6万円、2人世帯8万円。3人以上世帯10万円)

学校タブレット持ち帰りに伴う通信費支援

子どもが学校からタブレットを持ち帰りインターネットに接続して利用する際の通信費のうち1000円を補助します。

※いずれも詳しくは小郡市のホームページで。

新型コロナワクチン接種進む 一方で ワクチン供給遅れで一部計画に乱れ

高齢者の接種 順調

小郡市は、5月6日から65歳以上の高齢者を対象にワクチン接種をはじめ、7月8日現在で、1回目1万6040人(80.02%)、2回目8086人(46.72%)が終了しています。開始早々は、予約の電話が殺到し混乱しましたが、徐々に落ち着いてきています。

介護、福祉、児童 関連施設従事者への 優先接種

いわゆるエッセンシャルワーカー(必要不可欠な仕事)と呼ばれる人々には、優先的にワクチンを接種することになりました。ただ、教職員などについてはワクチン不足で計画が一旦停止しています。

今後、年齢段階的に 進め、11月目途に完了予定

7月19日からは55~64歳、16~18歳の予約が始まります。次に8月2日以降順次、19歳から54歳までの予約受付が始まります。市の計画では、接種対象の市民全員への接種完了予定を11月と見込んでいます。

中学生への接種券、 学校を通じて配布に 懸念の声

中学生の接種券は、夏休み前に学校で手渡すようになりしました。ただ、子どもへの接種については保護者の不安が大きいなか、学校からの配布によって圧力を感じてしまうのではないかと懸念の声が出ています。

年金の毎月支給を求め る意見書 国に送付

現在、年金受給者には毎月2か月分の年金が振り込まれます。以前は3か月ごとでしたが、不便だということなどで平成元年から現在のように2か月ごと年6回の支払いとなりました。

毎月の各種支払いに 合わせてもらいたい

今議会に、市民から「年金の毎月支給」の意見書を政府に提出するよう求める請願が出されました。支払いの多くが月締めで今の2か月では計画が立てにくいという理由でした。

支払い経費増はどうなる

毎月支払いとなると事務経費の増加が気になります。これは、年金原資からではなく国庫から出されるので年金基金に影響はないという事です。

この1さつ



月白の道

丸山 豊 著

「♪フィナーレをフィナーレをこんなにはつきり予想して・・・」中学校の卒業式で歌われる合唱「筑後川」です。その作詞者が著者の丸山豊氏で、久留米で開業医をしながら詩人としてすぐれた作品を残しておられ

ます。丸山氏は太平洋戦争の激戦地ビルマ戦線に軍医として従軍し、悲惨な戦場を潜り抜け生還されました。この本は、その体験と思いを戦後25年にして、初めて語られたものです。戦争がどのように人間性

をむしばんでいくか、その真相を誇張することなくどこまでも誠実なことばで綴られています。中学生の時、祖母を丸山先生に診ていただくため付き添っていき、読んでいた本のことを尋ねられたことを思い出します。

（よし）

加地市政2期目始まる 市民目線で議論し是々非々で 政策提言と行政チェック

自由で客観的な政策論議を

4月の市長選で、現職の加地市長が2期目の当選を果たしました。選挙期間中の政策論議の中心は、財政再建問題でした。大事なものは、財政の現実を客観的に冷静に分析し、その事実をもとに議会と十分話し合っ対策を実行することです。その際、立場や主観からどれだけ自由になれるかがカギとなります。しんばる議員は、是々非々の立場から加地市政に対し市民目線で政策提言と施策のチェックを行います。

すべての市民の長

選挙では、有権者4万7771人のうち加地氏1万3959票、平安氏1万1994票、古賀氏607票でした。加地市長は有権者の約3割の支持で当選したことになります。でも、市長となったからには、すべての市民の長です。市長に

コストコって何の話？

加地市長は、マニユフェストでコストコ誘致を掲げました。選挙前には聞いた

ことがなかったのに驚きました。今後、庁内に検討のための会議を設置するといえます。議会での質問に対しては、一私企業が相手なので詳しくは話せないといほとんど何も答えませんでした。どんな事情があるか分かりませんが、これでは不安ばかりが募ります。

コストコという大規模商業施設は、もしできたら小郡市の商業地図、土地利用、人の流れ、住宅開発などハード面ソフト面に大きな影響を与えるものです。

マイナスの面も考えておかなければなりません。このため議会から市に対しても丁寧な説明しながら進めるよう申し入れを行いました。

議案ごはれ話

政策討論がしたい

平成22年に議会基本条例を作ってから12年目となります。条例に「自由討議による合意形成」とあります。

議員が党派、立場を超え真剣に議論し、政策をまとめて市長に提案しようという趣旨です。現在行われている予算・決算委員会の意見書がそれに近いものです。本当はもっと子育てや農業や防災など個別の課題について政策をまとめ提案したいのですが、まだできていません。何とか前に進めようと2年前、議会活性化プロジェクト（座長しんばる）で政策討論と政策提案の計画をまとめました。しかし、その後、新型コロナや市長選などで未だに実行できていません。今度、第6次振興計画策定の議論を進めるのを機に、ぜひ政策討論をしたいと思っています。